

地域版
広報紙

さかもと

発行：坂本事務所・坂本公民館 岐阜県中津川市千旦林1197-10
 電話：0573-68-2001 FAX：0573-78-0002
 ホームページ：http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/branch/sakamoto/

坂本地区の人口・世帯

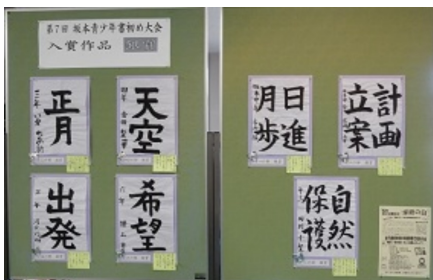
区分	1月末	12月末
人口計	12,876	12,880
人口(男)	6,411	6,418
人口(女)	6,465	6,462
世帯数	4,679	4,674

中学生の部入選者（敬称略）

学年	金 賞	銀 賞
1 年	野中駿輔	吉村 結
2 年	原 佳子	宮崎満月
3 年	有我千奈	田川千聖

小学生の部入選者（敬称略）

学年	金 賞	銀 賞
3 年	鈴木稀咲	伊藤蓮之助
4 年	梶村実由	吉田梨華
5 年	原 綾子	河合巧翔
6 年	鈴木結花	横山 杏



中津川市青少年健全育成推進市民会議坂本支部では、1月の「家庭の日実践強化月間」に坂本小学校3年生～6年生、坂本中学校全生徒を対象に、坂本青少年書き初め大会を開催しました。小学生52名、中学生419名の参加がありました。選ばれた作品は坂本公民館で展示されました。入賞された皆さんへは、江崎良彦支部長より賞状と記念品がそれぞれ授与されました。

岐阜県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。家庭は家族とのふれあいと安らぎの場であるとともに、青少年の人格形成の大切な場です。坂本支部では書き初めなどを通して、家族や仲間との絆を深めていただければと毎年こうした催しをしています。

第7回坂本青少年書き初め大会を開催しました

坂本事務所長からひとこと

東日本大震災から5年がたちます。その後も未曾有の災害が続発し、災害の発生を防ぐ防災から拡大させない減災へ、さらに復興した姿をイメージして計画しておく「事前復興」へと考え方も変わってきています。まちづくりと連動させて市民、専門家や行政が協働して進めれば、被災時ではなく普段だからこそ次の高い計画を立てられるのです。

災害ではありませんが、坂本では大きな公共事業がいくつも進められています。大きな変化を想定して、それに左右されないむしろ使いこなす坂本のまちづくりをできるところから取り組んでもらいたいと思います。がんばれ坂本。

平成28年度坂本小中学校施設利用者調整会のお知らせ

平成28年4月以降の坂本小中学校施設（体育館・グラウンド）の利用者調整会を次のとおり開催します。

この調整会では年間の利用枠組みを決めますので、定期利用や期日指定で活動を予定している団体は参加をお願いします。

なお、平成27年度中に定期利用があった団体の代表者あてに、開催案内を送ります。

■日時：平成28年3月22日（火）19時～

■会場：坂本事務所コミュニティルーム

※利用予定がある団体で、調整会をやむを得ず欠席される場合は、事前に坂本公民館まで連絡ください。

※調整会後も受付致しますが、調整会の結果が優先されますので予めご了承ください。

3月



20日・地域の おじさんおばさん ありがとう

きもちのよい あいさつは できていますか？感謝のきもちを わずれずに

二つの宝

「篤く三宝を敬え」ご存知聖徳太子の「十七条の憲法」から入ります。

仏法僧は敬いますが、本稿では太子の教えから離れて「現代の三宝」を考察することにしました。

清流こそ私たちに与えられた第一番目の宝であります。そしてわが中津川は大河木曾川が東西に流れ、付知川、中津川、落合川、阿木川など清らかな水が南北から多数流入します。大陸の飲めない水とは比較できません。居ながらにしてこのような至宝の恩恵に預かる、まさに素晴らしい環境であります。

では第二番目の宝は何かそれは「山」であります。「豊かな森林」これまた天が与えてくれた郷土中津川の誇りであります。水資源と木材資源は近い将来必ず無限大の脚光を浴びるでしょう。この一番と二番は、地球規模で見た場合どちらも世界が注目している資源であります。なぜなら、この二つは遠からず深刻な枯渇が見込まれるからであります。

昨今地球上で木材資源の源である森林を、十分に蓄えている国は「カナダ」と「我が国」の二ヶ国だけといわれております。シベリア、アマゾン、南洋材などは乱伐でやがて輸出が止まるでしょう。そのとき木材を自給できる国は前述の二ヶ国だけなのです。

では第三の宝は何か？それは国家繁栄の源「子どもたち」であります。明治維新、そして先の大戦のあと、直近では大震災からの復興すべて優秀な人材なしでは達成できません。日本人の苦境を跳ね返す力は何度も実証済みであります。

今、若い子育て中の親達には誠に厳しい生活環境があります。しかしながら今は苦しいが、子どもたちが成人となるころ、彼らの将来には必ずや幸せが約束されています。子育てを担っている親たちは本当に有り難い存在であります。今こそ、子どもたちは地域ぐるみで育てるべきです。

中津川は多くの意味で政策をキチンとすれば「人口増のポテンシャル」が備わった地域であり、市民はポジティブに生きるべきであります。

現状批判と不満ばかり言っていてはよい子は育ちません。孫子たちをしっかりと育み、山と川を守って行けば、わが郷土にはバラ色の未来が待っているのです。

（こらむ・平成28年2月11日・市岡 勉）



平成27年度坂本公民館まつり
開催します。
ステージ部門3月6日(日)
展示部門3月12日(土)15日(火)
公民館を利用する皆さんの1年間の活動の成果を発表するイベントです。お楽しみに！

第40回坂本公民館まつり

平成27年国勢調査の坂本地域の人口(速報値)です。
平成2年は10,975人でしたので、この25年(四半世紀)で17%の増加がありました。中津川市全体ではこの25年で6%の減少になっています。坂本以外では苗木地域が少し増加していますが他の地域は中津地域も含めてみな減少傾向です。
また、中津川市78,920人の約16%の人が坂本地域に住んでいます。

区 分	坂本地域	中津川市
平成27年	12,843人	78,920人
平成2年	10,975人	84,410人
増減率	17.02%	△6.50%

人口速報値

12,843人

坂本事務所サイクルボックス
午前8時30分～午後5時15分
持ち込み可能な資源
新聞紙 段ボール 雑誌 食品トレイ
発泡スチロール
雑紙(紙袋に入れてください)
※布類は持ち込まないでください
※資源ごみは指定日に指定された場所へ出してください

3月	行事名	会場等
6日(日)	坂本公民館まつりステージ部門	坂本公民館
7日(月)	子育てサロン 乳幼児なんでもサロン	麦の穂会館
10日(木)	資源ごみの日(千旦林)	
12日(土)	坂本公民館まつり展示部門 15日まで	坂本公民館
16日(水)	資源ごみの日(茄子川)	
24日(木)	燃えないごみの日(千旦林)	
28日(月)	燃えないごみの日(茄子川)	